

前立腺生検の説明と検査承諾書

梶田泌尿器科クリニック

概要

前立腺の組織は PSA（前立腺がん特異抗原）というタンパク質を分泌します。前立腺がんの組織は、正常前立腺組織に比べて多くの PSA を産生するため、前立腺がんを発症していれば採血検査で PSA が高値になります。おおまかな目安として PSA が 4.0 ng/ml 以上が異常高値とされていますが、4.0 以下でも前立腺がんが検出されることもありますし、逆に 4.0 以上でも検出されないこともあります。本当に前立腺がんがあるかどうかを確定するには、実際に組織を採取して調べる必要があります。それが前立腺生検という検査です。

生検の方法

前立腺は膀胱のすぐ下、直腸の前方にあります。経直腸的方法（肛門内に超音波の棒を挿入し、それに沿わせて針で前立腺組織を採取する）が最も簡便で約 10 分で終了します。麻酔を希望される方には仙骨麻酔にて除痛を致します。6～8 か所の組織を採取します。

合併症

発熱

直腸は大腸菌を主として色々な菌が常在しています。生検の日から 2 日間ほど高熱が出る場合が 100 人に 1 人あります。その場合は直ちに電話連絡（075-241-1409、時間外でも転送されます）をお願いいたします。放置すれば敗血症ショックに進行する場合がありますので、遠慮せずに必ずご連絡ください。

出血

大便、小便、精液に血が混ざります。特に生検直後は肛門からの出血が止まりにくいことがあり、その場合肛門に指を挿入し圧迫止血を行います。小便や精液に血が混ざることが 1 週間ほど続くこともありますが、自然に止まりますのでご安心ください。血尿が濃い場合、たくさんの凝血塊が尿中に排出することがあります。その場合もご連絡ください。

その他

尿の勢いが一時的に弱くなったりすることがあります。

検査承諾書

前立腺生検の必要性、方法、合併症について医師から十分な説明を受け、前立腺生検を行うことに同意いたします。

平成____年____月____日

お名前_____

（ご家族_____）

説明医師 梶田洋一郎